

シスコのインドアマップ技術により スマートな展示会を実現



カスタマープロフィール

社名 : Indoor Maps Technology
Co., Ltd.

業種 : インターネット

所在地 : 中国広州

ビジネスニーズ

- ・ 出展者は、ネットワークのカスタマイズ、特に予想以上のトラフィックの増加や頻繁な増加に対応できることを求めている
- ・ 誤作動やリソースの浪費を引き起こしやすい、手作業を中心とする従来のネットワーク運用手法を改善する
- ・ アプリケーションとサービスの多様性と継続性に欠かせない、十分な処理能力と回復力を備えた（効率的に展開できる）ネットワークを確保する
- ・ Wi-Fi サービスを介したデータマイニングにより、展示会運営に関連するマーケティングデータを正確に配信する

ソリューション

- ・ Cisco DNA Assurance
- ・ 有線/ワイヤレス統合アクセス（将来の SDA）
- ・ Cisco DNA Spaces による顧客志向と行動データの分析

導入メリット

- ・ ネットワークの展開速度や更新スピードの改善により、ユーザエクスペリエンスが向上
- ・ 設置、運用、メンテナンスのコストが削減され、ネットワーク障害を迅速に特定可能
- ・ Cisco DNA Spaces からのトラフィックフロー情報と緊密に統合された専用アプリにより、正確な広告マーケティングが実現
- ・ ビジネスの持続可能性が向上し、投資が保護されるため、ビジネスサービスの価値が向上

プロジェクト概要

どうすれば従来の展示会を「スマート」にし、スポンサー、出展者、訪問者にとってより価値のある体験を提供できるでしょうか。中国広州に本社を置く Indoor Maps 社が選んだのはシスコのソリューションでした。シスコが世界に誇る_intentベースのネットワークや、顧客データに基づく大規模なビジネスインテリジェンスを導入することで、従来の展示会をデジタル展示に変え、より大きな可能性を引き出すことに成功したのです。

展示会では、各社のブランド個性に応じて会場ブースをデザイン、設置し、訪問者の関心を惹きつけるようにコンテンツを配置するなど、出展企業ごとの配慮が求められます。

しかし Indoor Maps IT Co., Ltd.（以下「Indoor Maps 社」）にとって、従来の展示会は「過去のもの」です。新しいデジタル時代を迎えた同社は、よりスマートで価値のある展示会を目指しているからです。

2014 年 2 月に設立された Indoor Maps 社の本社は、広州市 CBD（中心業務地区）の珠江新城にあります。ここは多角的なビジネスを展開するのに適した場所だと言えます。たとえば同社は、Amap Software Co., Ltd. の商業パートナーとして HappyShare（電気自動車のタイムシェアとリースの会社）を立ち上げたほか、多様なインターネット関連ビジネスも手がけています。

その一方で、スマートシティ向けソリューションにも注力し、従来の統合型ビジネスからモバイルインターネットと IoT の事業に移行しつつあります。その一環が、スマートな展示会やスタジアム運営を実現するデジタルサービスへの進出です。

同社は主に 2 つのサービスを提供しています。1 つ目は、高品質のインターネットアクセス（有線、無線ネットワーク）を会場に提供するサービスです。2 つ目は、Wi-Fi、Bluetooth、アプリ、そして大規模な顧客データを統合するビジネススマート分析サービスです。これには最初のサービスが不可欠です。スマート分析サービスでは、訪問者のトラフィックの統計やブースでの滞在時間、行動追跡などのデータをインテリジェントに分析し、ビジネスにとって有益な情報に変換します。分析により得られた正確なマーケティングデータは、スポンサーの事業や運営管理、訪問者の誘致、展示体験の向上などに活用されます。

「シスコのintentベースネットワークが実現するインテリジェンス、可視化、自動化により、迅速な展開、メンテナンス、トラブルシューティングの面で社内ニーズを満たせました。人件費や物的資源の削減と投資保護にも役立っています。しかも、インターフェイスを開発することでデジタルビジネスを迅速に拡大し、ビジネスの柔軟性を向上できたことで、データマイニングを介した付加価値サービスを強化できました」

- Luo Yuansheng 氏

Indoor Maps 社統括マネージャー

スマートプロジェクトにはスマート ネットワークプラットフォームが不可欠

同社は最近、中国輸出入見本市（以下「広州交易会」）に向けたスマートな展示プロジェクトに着手しました。1957年の春に設立された広州交易会は、中国商務部と広東省人民政府の共催で、隔年の春と秋に広州で開催されています。歴史、規模、出典カテゴリーの点から、広州交易会は中国で初めて開かれた総合的な国際見本市でした。Indoor Maps社のプロジェクトでは、現在および将来の各企業のニーズを満たせるデジタルプラットフォームや、適切なサポート機能を備えたネットワークインフラが必要です。インターフェイスやネットワーク機器の開発が必要になるほか、それらに優れた機能や安定性も求められます。それと同時に、サービスコストの削減効果や、迅速な診断の実現と分析情報の提供も期待されます。

つまりプロジェクトにおける中心的なニーズとは、予想以上のデータ、ユーザ数、ロケーションマッピング、そして将来の需要に対応できる運用プラットフォームとネットワークアーキテクチャにあるのです。多くの業界からなる出展社やスポンサー、参加者に対応できる能力や、アプリケーションとサービスの多様性と継続性を確保できる十分な回復力、そして効率的な展開力が欠かせません。大容量トラフィックに対応できるWi-Fiとネットワークを提供して、高密度環境でも正確なマッピングを実現できる必要があります。そしてさらに、インテリジェントな自動化を備え、迅速に展開、トラブルシューティングできることも必須条件です。

Cisco DNA デジタルネットワークによるインテリジェントなサポート

インドアマップに関連する会場との調整や、差し迫るシステム立ち上げ日程といったビジネス課題に対して、シスコはCisco Digital Network Architecture (Cisco DNA) ソリューションをIndoor Maps社に提案しました。

シスコの提案内容では、会場のネットワークパーティションが可能になり、新しいCatalyst 9000シリーズスイッチが導入されます。新型スイッチの導入により、新しいコア、コンバージェンス、アクセスアーキテクチャを構築できるだけでなく、有線/ワイヤレスネットワークへのユニファイドアクセスも施設全体で実現できます。同時にSD-Access (SDA) もシスコから提供し、出展社のビジネスニーズに応じたネットワークリソースの動的なプロビジョニングを可能にします。より柔軟なネットワークセグメンテーションとビジネス戦略を簡単操作で適用できるため、ネットワークをハードウェアレベルで操作する必要はありません。

シスコの大規模ネットワークが導入されるなかで、Indoor Maps 社にとって特に印象的だったのは Cisco DNA の「自動化」特性だったようです。Cisco DNA Center によりネットワーク全体を自動的に導入できます。つまり 1 回のクリックで何千台ものネットワーク機器を瞬時に設定可能なのです。これにより莫大な人件費を節約できました。

運用レベルでは、Cisco DNA アシユアランステクノロジーによってネットワーク全体の可視化が可能になり、運用とメンテナンスの管理コストが大きく削減されました。同時に導入されたシスコのワイヤレス センサー テクノロジーは、ワイヤレスネットワークの正常性と施設のシステム可用性を維持するために Indoor Maps 社により活用されています。ネットワーク全体のワイヤレス ネットワーク ステータス レポートは、主要な展示会の開催前にオンデマンドで作成可能で、「受け身型」の運用とメンテナンスを「積極的」でインテリジェントな運用に変えます。Cisco DNA Spaces からのデータに基づいて開発されたアプリは、敷地内の現在地に基づいて顧客を検出して接触し、最終的に顧客と対話することを可能にします。それを支えるのが、会場広告を正確にプッシュし、ブースをよりインテリジェントに配置できるシスコの技術です。

さらにシスコでは、Cisco Solution Support（ソリューション サポート サービス）も提供しています。Indoor Maps 社はこれを、テクノロジーサポートの単一窓口、つまり統合インターフェイスに役立てています。異種ソリューションの混在環境でも徹底的なトラブルシューティングを可能にする最終的な解決策として、同社によるネットワーク運用とメンテナンスの合理化に貢献しています。

柔軟性と効率性の確保、コストの削減、 ビジネス持続性の維持

Cisco DNA アーキテクチャを導入した Indoor Maps 社は、よりスマートな広州交易会の実現に成功しました。同社は、スマート展示サービスのプラットフォームと基本的なネットワークを介して、ビジネスタイプごとにネットワーク戦略を最適化しています。従来は過剰な技術者を抱え現場でのデバッグ作業に追われてきましたが、インテリジェントで迅速な展開により、手動構成の従来のネットワークを高可用性のオンデマンドネットワークへと変革できたのです。

Indoor Maps 社の観点からすると、Cisco DNA アーキテクチャの利点は IT の柔軟性とスケーラビリティにあります。戦略ベースの自動化により、さまざまな戦略をより迅速に展開でき、従来の手作業では避けられない追加費用と IT コストも削減できたのです。プラグアンドプレイなどの自動化により、ほぼ 1 万台の有線、無線デバイスを購入直後から使用できるため、ネットワークの初期導入とトラブルシューティング時間のコストを効果的に削減し、ビジネスの持続可能性を確保することにも成功しています。Cisco DNA Assurance は、エンドポイント（ユーザとデバイス）に基づいてネットワーク全体のトラフィックを可視化できるため、ダウンタイムとトラブルシューティング時間を短縮し、ビジネスの持続可能性や投資保護を高めています。

Indoor Maps 社のゼネラルマネージャ Luo Yuansheng 氏は、「シスコのインテントベース ネットワークが実現するインテリジェンス、可視化、自動化により、迅速な展開、メンテナンス、トラブルシューティングの面で社内ニーズを満たせました。人件費や物的資源の削減と投資保護にも役立っています。しかも、インターフェイスを開発することでデジタルビジネスを迅速に拡大し、ビジネスの柔軟性を向上できたことで、データマイニングを介した付加価値サービスを強化できました」と述べています。

詳細については 03-6434-6500 までお問い合わせください。

シスコの詳細については、https://www.cisco.com/c/ja_jp/index.html をご覧ください。Cisco Systems, Inc. All rights reserved.